



**JASDAQ**

平成23年12月28日

各 位

会 社 名 株式会社マキヤ  
代表者名 代表取締役社長 川原崎 康雄  
(コード番号 9890)  
問合せ先 取締役財務部長 矢部 利久  
(TEL. 0545-36-1000)

(訂正)「平成24年3月期 第2四半期決算短信」の一部訂正について

当社は、平成23年12月13日付「不適切な会計処理の可能性について」において、過年度決算の訂正につきましては、確定次第速やかに開示する旨、お知らせいたしました。このたび、その具体的な訂正内容が確定いたしましたので下記のとおりご報告いたします。

訂正箇所を含むページについては訂正前と訂正後をそれぞれ添付し、訂正箇所には\_\_\_\_\_ (アンダーライン) を付して表示しております。

#### 記

##### 1. 訂正を行う決算短信

決算期 平成24年3月期 第2四半期決算短信

発表日 平成23年11月8日

##### 2. 訂正の理由

当社において不適切な会計処理があったため。

詳細は、本日付「不適切な会計処理の調査結果について」をご参照ください。

以 上

## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場会社名 株式会社 マキヤ  
 コード番号 9890  
 代表者 (役職名)代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役財務部長  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 大  
 URL <http://www.makiya-group.co.jp>  
 (氏名)川原崎 康雄  
 (氏名)矢部 利久 (TEL)0545-36-1000  
 配当支払開始予定日 平成23年12月5日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	28,904	△4.4	634	18.2	728	21.2	405	643.5
23年3月期第2四半期	30,240	△1.2	536	125.3	600	115.6	54	△63.6

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 431百万円(-%) 23年3月期第2四半期 21百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	40.64	-
23年3月期第2四半期	5.46	-

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	28,550	12,279	43.0	1,229.91
23年3月期	29,450	11,922	40.5	1,194.19

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 12,279百万円 23年3月期 11,922百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	-	7.50	-	7.50	15.00
24年3月期	-	7.50	-	-	-
24年3月期(予想)	-	-	-	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,500	△1.6	1,200	△8.4	1,400	△4.1	650	30.1	65.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場会社名 株式会社 マキヤ 上場取引所 大  
 コード番号 9890 URL <http://www.makiya-group.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)川原崎 康雄  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役財務部長 (氏名)矢部 利久 (TEL)0545-36-1000  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日 平成23年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	28,904	△4.4	624	26.5	718	28.8	399	—
23年3月期第2四半期	30,240	△1.2	493	107.3	557	100.2	28	△80.8

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 425百万円(-%) 23年3月期第2四半期 △4百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	40.03	—
23年3月期第2四半期	2.88	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	28,494	12,223	42.9	1,224.34
23年3月期	29,400	11,872	40.4	1,189.22

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 12,223百万円 23年3月期 11,872百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
24年3月期	—	7.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,500	△1.6	1,200	△4.9	1,400	△0.9	650	37.9	65.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

【訂正前】(2ページ)

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢及び個人消費の状況に若干の持ち直しの兆しが見られるものの、東日本大震災の影響による電力供給の制約やサプライチェーンの寸断といった各種の影響により、依然として厳しい状況が続いております。また、消費者物価については、下落基調が続いており緩やかなデフレ状況にあります。

当小売業界におきましては、競合店との競争激化やデフレの進行による商品の販売価格の下落が続くなど、依然として厳しい環境が続いております。

このような環境の中、当社グループは、売場生産性の向上を目指し、重点施策として「欠品撲滅」と「品揃え」の徹底強化と、その実行項目として「あいさつ・親切対応の実行」、「売場実行項目の完全実行」、「人材育成と組織生産性の向上」などに引き続き取り組んでおります。

その中でも「売場実行項目の完全実行」のうち、「鮮度チェック実行度」につきましては、商品監査部による商品鮮度の向上と賞味期限管理により、「顧客満足度」の向上と「商品ロス」の削減等に大きな改善効果が現れております。

また、小商圏型の店舗として、平成23年9月に「ポテトm a m y 西沢田店」を改装オープンいたしました。この店舗は、「ロープライスの生鮮&コンビニスーパー」をコンセプトとし、品揃え・商品アイテム構成の抜本的見直しによるローコスト型の店舗展開を可能とするモデル店舗であります。

①売上高

当第2四半期連結累計期間の売上高は、289億4百万円(前年同期比4.4%減)となりました。「業務スーパー」につきましては、前連結会計年度において新規開店した5店舗の売上寄与により前年同期を上回りましたが、総合ディスカウント店「エスポット」につきましては、7月中旬以降の台風襲来、気温低下等による季節商品の売れ行きの鈍化等により前年同期を若干下回る結果となりました。また、食品スーパー「ポテト」は利益面では大幅に改善しているものの、厳しい競争環境等の影響により売上高は前年同期を下回る結果となりました。

②営業利益及び経常利益

当第2四半期連結累計期間の営業利益は、6億3千4百万円(前年同期比18.2%増)、経常利益は、7億2千8百万円(前年同期比21.2%増)となりました。これは、売上総利益率が前年同期と比較して改善したことにより、前年同期とほぼ同水準の売上総利益を確保できたことと、販売費及び一般管理費の改善効果によるものであります。

③四半期純利益

当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は、4億5百万円(前年同期差3億5千1百万円増)と大幅に増加いたしました。

これは、前第2四半期連結累計期間に資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額の1億7千6百万円、投資有価証券売却損の1億4千6百万円等を特別損失として計上していたことによるものであります。

【訂正後】(2ページ)

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢及び個人消費の状況に若干の持ち直しの兆しが見られるものの、東日本大震災の影響による電力供給の制約やサプライチェーンの寸断といった各種の影響により、依然として厳しい状況が続いております。また、消費者物価については、下落基調が続いており緩やかなデフレ状況にあります。

当小売業界におきましては、競合店との競争激化やデフレの進行による商品の販売価格の下落が続くなど、依然として厳しい環境が続いております。

このような環境の中、当社グループは、売場生産性の向上を目指し、重点施策として「欠品撲滅」と「品揃え」の徹底強化と、その実行項目として「あいさつ・親切対応の実行」、「売場実行項目の完全実行」、「人材育成と組織生産性の向上」などに引き続き取り組んでおります。

その中でも「売場実行項目の完全実行」のうち、「鮮度チェック実行度」につきましては、商品監査部による商品鮮度の向上と賞味期限管理により、「顧客満足度」の向上と「商品ロス」の削減等に大きな改善効果が現れております。

また、小商圏型の店舗として、平成23年9月に「ポテトm a m y 西沢田店」を改装オープンいたしました。この店舗は、「ロープライスの生鮮&コンビニスーパー」をコンセプトとし、品揃え・商品アイテム構成の抜本的見直しによるローコスト型の店舗展開を可能とするモデル店舗であります。

①売上高

当第2四半期連結累計期間の売上高は、289億4百万円(前年同期比4.4%減)となりました。「業務スーパー」につきましては、前連結会計年度において新規開店した5店舗の売上寄与により前年同期を上回りましたが、総合ディスカウント店「エスポット」につきましては、7月中旬以降の台風襲来、気温低下等による季節商品の売れ行きの鈍化等により前年同期を若干下回る結果となりました。また、食品スーパー「ポテト」は利益面では大幅に改善しているものの、厳しい競争環境等の影響により売上高は前年同期を下回る結果となりました。

②営業利益及び経常利益

当第2四半期連結累計期間の営業利益は、6億2千4百万円(前年同期比26.5%増)、経常利益は、7億1千8百万円(前年同期比28.8%増)となりました。これは、売上総利益率が前年同期と比較して改善したことにより、前年同期とほぼ同水準の売上総利益を確保できたことと、販売費及び一般管理費の改善効果によるものであります。

③四半期純利益

当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は、3億9千9百万円(前年同期差3億7千万円増)と大幅に増加いたしました。

これは、前第2四半期連結累計期間に資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額の1億7千6百万円、投資有価証券売却損の1億4千6百万円等を特別損失として計上していたことによるものであります。

【訂正前】(3ページ)

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

流動資産は、「エスポット清水天王店」の新店建設代金等の支出により現金及び預金が11億4千2百万円減少したことにより67億1千7百万円となり、前連結会計年度末と比較して10億8千6百万円減少いたしました。

固定資産は、遊休土地の売却により土地が4億9千5百万円減少したものの、「エスポット清水天王店」の新店建設投資にともない、建設仮勘定が8億8千3百万円増加したこと等により218億3千3百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億8千6百万円増加いたしました。

この結果、資産合計では、前連結会計年度末と比較して8億9千9百万円減少し、285億5千万円となりました。

(負債)

流動負債は、短期借入金が1億1千9百万円増加したものの、買掛金が3億8千5百万円、未払消費税等が1億4千5百万円減少したこと等により、97億4千6百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億6千3百万円減少いたしました。

固定負債は、長期借入金が8億4百万円減少したこと等により、65億2千4百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億9千2百万円減少いたしました。

この結果、負債合計では、前連結会計年度末と比較して12億5千6百万円減少し、162億7千1百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比較して3億5千6百万円増加し、122億7千9百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末と比較して11億4千2百万円減少し、10億9千6百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少額が3億8千5百万円、法人税等の支払額が3億6千9百万円、たな卸資産の増加額が2億7千4百万円等あったものの、税金等調整前四半期純利益が7億2千8百万円、減価償却費4億8千6百万円等により2億2千6百万円の収入(前年同期は11億4千8百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の売却による収入が4億9千5百万円等あったものの、有形固定資産の取得による支出が10億2百万円あったこと等により4億3千3百万円の支出(前年同期は4千4百万円の収入)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出が9億4千7百万円あったこと等により9億3千5百万円の支出(前年同期は12億5千9百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月10日に公表いたしました連結業績予想は変更しておりません。

なお、平成23年8月9日の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社ひのやを平成23年12月1日を合併期日として吸収合併することを決議し、同日付で合併契約を締結いたしました。本合併による影響額の詳細が確定し、業績予想の修正開示の必要が生じた場合は、あらためてお知らせいたします。

【訂正後】(3ページ)

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

流動資産は、「エスポット清水天王店」の新店建設代金等の支出により現金及び預金が11億4千2百万円減少したことにより66億6千1百万円となり、前連結会計年度末と比較して10億9千2百万円減少いたしました。

固定資産は、遊休土地の売却により土地が4億9千5百万円減少したものの、「エスポット清水天王店」の新店建設投資にともない、建設仮勘定が8億8千3百万円増加したこと等により218億3千3百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億8千6百万円増加いたしました。

この結果、資産合計では、前連結会計年度末と比較して9億5百万円減少し、284億9千4百万円となりました。

(負債)

流動負債は、短期借入金が1億1千9百万円増加したものの、買掛金が3億8千5百万円、未払消費税等が1億4千5百万円減少したこと等により、97億4千6百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億6千3百万円減少いたしました。

固定負債は、長期借入金が8億4百万円減少したこと等により、65億2千4百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億9千2百万円減少いたしました。

この結果、負債合計では、前連結会計年度末と比較して12億5千6百万円減少し、162億7千1百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比較して3億5千万円増加し、122億2千3百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末と比較して11億4千2百万円減少し、10億9千6百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少額が3億8千5百万円、法人税等の支払額が3億6千9百万円、たな卸資産の増加額が2億6千4百万円等あったものの、税金等調整前四半期純利益が7億1千8百万円、減価償却費4億8千6百万円等により2億2千6百万円の収入(前年同期は11億4千8百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の売却による収入が4億9千5百万円等あったものの、有形固定資産の取得による支出が10億2百万円あったこと等により4億3千3百万円の支出(前年同期は4千4百万円の収入)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出が9億4千7百万円あったこと等により9億3千5百万円の支出(前年同期は12億5千9百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月10日に公表いたしました連結業績予想は変更しておりません。

なお、平成23年8月9日の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社ひのやを平成23年12月1日を合併期日として吸収合併することを決議し、同日付で合併契約を締結いたしました。本合併による影響額の詳細が確定し、業績予想の修正開示の必要が生じた場合は、あらためてお知らせいたします。

【訂正前】(4ページ)

2. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,239,449	1,096,831
売掛金	494,864	290,784
商品	4,631,347	4,909,350
その他	438,481	420,398
貸倒引当金	△398	△251
流動資産合計	7,803,743	6,717,114
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,840,560	8,603,046
土地	7,494,712	6,999,712
その他(純額)	542,057	1,487,637
有形固定資産合計	16,877,330	17,090,396
無形固定資産	1,049,393	1,015,404
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,929,151	2,934,592
その他	791,425	793,779
貸倒引当金	△884	△880
投資その他の資産合計	3,719,692	3,727,491
固定資産合計	21,646,416	21,833,292
資産合計	29,450,160	28,550,406
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,947,026	4,561,572
短期借入金	2,880,373	2,999,433
未払法人税等	386,322	332,191
賞与引当金	159,913	117,522
ポイント引当金	84,511	127,770
その他	1,752,145	1,608,085
流動負債合計	10,210,292	9,746,575
固定負債		
社債	932,500	871,000
長期借入金	4,173,531	3,368,814
退職給付引当金	563,080	576,901
役員退職慰労引当金	61,299	60,489
資産除去債務	390,455	393,578
その他	1,196,474	1,253,917
固定負債合計	7,317,340	6,524,702
負債合計	17,527,633	16,271,278

【訂正後】(4ページ)

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,239,449	1,096,831
売掛金	494,864	290,784
商品	4,548,996	4,817,036
その他	471,207	457,084
貸倒引当金	△398	△251
流動資産合計	7,754,119	6,661,485
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,840,560	8,603,046
土地	7,494,712	6,999,712
その他(純額)	542,057	1,487,637
有形固定資産合計	16,877,330	17,090,396
無形固定資産	1,049,393	1,015,404
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,929,151	2,934,592
その他	791,425	793,779
貸倒引当金	△884	△880
投資その他の資産合計	3,719,692	3,727,491
固定資産合計	21,646,416	21,833,292
資産合計	29,400,535	28,494,778
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,947,026	4,561,572
短期借入金	2,880,373	2,999,433
未払法人税等	386,322	332,191
賞与引当金	159,913	117,522
ポイント引当金	84,511	127,770
その他	1,752,145	1,608,085
流動負債合計	10,210,292	9,746,575
固定負債		
社債	932,500	871,000
長期借入金	4,173,531	3,368,814
退職給付引当金	563,080	576,901
役員退職慰労引当金	61,299	60,489
資産除去債務	390,455	393,578
その他	1,196,474	1,253,917
固定負債合計	7,317,340	6,524,702
負債合計	17,527,633	16,271,278

【訂正前】(5ページ)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,198,310	1,198,310
資本剰余金	1,083,637	1,083,637
利益剰余金	<u>10,046,687</u>	<u>10,377,554</u>
自己株式	△446,077	△446,069
株主資本合計	<u>11,882,556</u>	<u>12,213,432</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,970	65,696
その他の包括利益累計額合計	39,970	65,696
純資産合計	<u>11,922,526</u>	<u>12,279,128</u>
負債純資産合計	<u>29,450,160</u>	<u>28,550,406</u>

【訂正後】(5ページ)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,198,310	1,198,310
資本剰余金	1,083,637	1,083,637
利益剰余金	<u>9,997,062</u>	<u>10,321,926</u>
自己株式	△446,077	△446,069
株主資本合計	<u>11,832,931</u>	<u>12,157,803</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,970	65,696
その他の包括利益累計額合計	39,970	65,696
純資産合計	<u>11,872,901</u>	<u>12,223,500</u>
負債純資産合計	<u>29,400,535</u>	<u>28,494,778</u>

【訂正前】(6ページ)

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	30,240,419	28,904,199
売上原価	23,787,921	22,729,731
売上総利益	6,452,497	6,174,467
販売費及び一般管理費	5,916,086	5,540,270
営業利益	536,411	634,197
営業外収益		
受取利息	1,395	1,178
受取配当金	5,647	5,784
受取家賃	110,175	169,358
その他	63,328	68,044
営業外収益合計	180,546	244,365
営業外費用		
支払利息	70,055	59,029
不動産賃貸費用	35,889	82,844
その他	10,189	8,305
営業外費用合計	116,133	150,179
経常利益	600,824	728,383
特別損失		
減損損失	64,515	—
投資有価証券売却損	146,400	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	176,222	—
その他	1,216	—
特別損失合計	388,354	—
税金等調整前四半期純利益	212,469	728,383
法人税、住民税及び事業税	215,242	315,380
法人税等調整額	△57,346	7,253
法人税等合計	157,895	322,634
少数株主損益調整前四半期純利益	54,573	405,748
四半期純利益	54,573	405,748

【訂正後】(6ページ)

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	30,240,419	28,904,199
売上原価	23,830,760	22,739,694
売上総利益	6,409,658	6,164,504
販売費及び一般管理費	5,916,086	5,540,270
営業利益	493,572	624,234
営業外収益		
受取利息	1,395	1,178
受取配当金	5,647	5,784
受取家賃	110,175	169,358
その他	63,328	68,044
営業外収益合計	180,546	244,365
営業外費用		
支払利息	70,055	59,029
不動産賃貸費用	35,889	82,844
その他	10,189	8,305
営業外費用合計	116,133	150,179
経常利益	557,985	718,420
特別損失		
減損損失	64,515	—
投資有価証券売却損	146,400	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	176,222	—
その他	1,216	—
特別損失合計	388,354	—
税金等調整前四半期純利益	169,630	718,420
法人税、住民税及び事業税	215,242	315,380
法人税等調整額	△74,370	3,294
法人税等合計	140,871	318,674
少数株主損益調整前四半期純利益	28,758	399,745
四半期純利益	28,758	399,745

【訂正前】(7ページ)

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	54,573	405,748
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33,537	25,726
その他の包括利益合計	△33,537	25,726
四半期包括利益	21,035	431,475
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,035	431,475
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

【訂正後】(7ページ)

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	28,758	399,745
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33,537	25,726
その他の包括利益合計	△33,537	25,726
四半期包括利益	△4,779	425,471
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,779	425,471
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

【訂正前】(8ページ)

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	212,469	728,383
減価償却費	494,184	486,588
減損損失	64,515	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△131	△151
賞与引当金の増減額(△は減少)	24,555	△42,390
ポイント引当金の増減額(△は減少)	4,296	43,259
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△382	13,821
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,690	△810
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,215	△10,238
受取利息及び受取配当金	△7,042	△6,962
支払利息	70,055	59,029
投資有価証券売却損益(△は益)	146,400	△4,390
投資有価証券評価損益(△は益)	1,216	—
売上債権の増減額(△は増加)	△9,493	204,079
たな卸資産の増減額(△は増加)	16,652	△274,950
仕入債務の増減額(△は減少)	3,212	△385,453
未払消費税等の増減額(△は減少)	104,918	△138,482
未収消費税等の増減額(△は増加)	54,554	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	176,222	—
その他	139,744	△27,053
小計	1,494,419	644,280
利息及び配当金の受取額	7,042	6,962
利息の支払額	△66,370	△55,575
法人税等の支払額	△286,483	△369,512
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,148,607	226,154
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△69,382	△1,002,185
有形固定資産の売却による収入	—	495,000
投資有価証券の売却による収入	55,798	17,696
貸付金の回収による収入	5,115	5,285
敷金及び保証金の差入による支出	△61,159	△90,521
敷金及び保証金の回収による収入	118,206	85,079
その他	△3,664	56,628
投資活動によるキャッシュ・フロー	44,912	△433,016

【訂正後】(8ページ)

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	169,630	718,420
減価償却費	494,184	486,588
減損損失	64,515	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△131	△151
賞与引当金の増減額(△は減少)	24,555	△42,390
ポイント引当金の増減額(△は減少)	4,296	43,259
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△382	13,821
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,690	△810
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,215	△10,238
受取利息及び受取配当金	△7,042	△6,962
支払利息	70,055	59,029
投資有価証券売却損益(△は益)	146,400	△4,390
投資有価証券評価損益(△は益)	1,216	—
売上債権の増減額(△は増加)	△9,493	204,079
たな卸資産の増減額(△は増加)	59,491	△264,987
仕入債務の増減額(△は減少)	3,212	△385,453
未払消費税等の増減額(△は減少)	104,918	△138,482
未収消費税等の増減額(△は増加)	54,554	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	176,222	—
その他	139,744	△27,053
小計	1,494,419	644,280
利息及び配当金の受取額	7,042	6,962
利息の支払額	△66,370	△55,575
法人税等の支払額	△286,483	△369,512
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,148,607	226,154
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△69,382	△1,002,185
有形固定資産の売却による収入	—	495,000
投資有価証券の売却による収入	55,798	17,696
貸付金の回収による収入	5,115	5,285
敷金及び保証金の差入による支出	△61,159	△90,521
敷金及び保証金の回収による収入	118,206	85,079
その他	△3,664	56,628
投資活動によるキャッシュ・フロー	44,912	△433,016